

2009年12月24日

報道関係各位

株式会社コネクテッド

**文書管理システムユーザの長年の悩みであった、
いつまでも使い続けられる最適な分類フォルダ構成を解決した**

文書管理システム「FullWEB4.1」を発売

株式会社コネクテッド社（本社：大阪市淀川区 代表取締役：森 吉弘）は文書管理システム「FullWEB4.1」を、12月24日より販売開始することを、以下の通りお知らせします。

記

1. 背景：

昨今、ひとつの企業やひとつの部門で共有すべきファイル（文書、表計算、写真、動画等）を管理するために、様々なシステム（ファイルサーバー、グループウェア、文書管理システム等）が導入されています。これらのシステムにおいて共有されたデジタルファイルは、通常は3階層（大分類、中分類、小分類）程度のフォルダで分類されて利用されています。この分類用フォルダを利用状況に応じて最適に保つ仕組みはほとんどありませんので、システム運用開始時点の構成のまま利用されることが多く、時間が経つにつれ、「思ったフォルダに見つからない！」とか、「どのフォルダに登録していいのかわからない！」という不便さを訴える声が多くなってきます。

これらの問題を解決するために、コネクテッド社は2007年に最適な分類用階層フォルダを生成する技術（*Growing Tree*）を開発しました。このたび、この *GrowingTree* 機能を定期実行可能なものにし文書管理システム「FullWEB4.1」に搭載しました。この新製品の特徴は、ユーザ登録内容の変化に対応した分類フォルダが自動生成されるため、いつまでも使い続けられる文書管理システムのメンテナンスが管理者の手をわずらすことなく可能となったことです。

2. 製品価格

「FullWEB4.1 サーバー」	350 万円
「FullWEB4.1 同時接続クライアントライセンス」	5 万円

3. 販売方法：

当社パートナーを通じて提供。

4. 提供開始時：

2009年度12月24日（木）より出荷開始いたします。

5. 販売目標：

初年度 40 サーバー2000 クライアントを見込んでいます。

6. 本件に関するお問い合わせ先：

【製品に関するお問い合わせ先】

株式会社コネクテッド

担当：井上

TEL:06-6390-2505

E-Mail:support@connected.co.jp

URL:http://www.connected.co.jp/

以上

7. 補足資料 分類フォルダが自動生成される手順

図1の社内文書の分類フォルダがどのようにして構築されたかを説明します。

1. システム管理者

- システム導入時に社内の文書を、部門、行動、書類種の3階層で分類することを決定
- フォルダの構築を毎日23:00に行うように設定
- フォルダ構築条件として、同じ種類のファイルが10個存在するように設定。
フォルダ生成条件は下記の3種類から選択可能
 - ◇ 存在する (ファイルの存在するフォルダだけを表示)
 - ◇ ベストN抽出 (よく出現するファイルが存在するフォルダだけを表示)
 - ◇ 最低N個存在 (同類がある程度以上存在するフォルダだけを表示)

2. ユーザ

- 営業部門は10ユーザ
- ファイルに自由に分類用キーワードをつけて登録

3. GrowingTree 生成状況：

- 2009年12月1日より運用を開始
- 毎日23:00に、ユーザが登録したすべてのファイルをスキャンし、同じ種類のファイルが10個存在するものから分類用階層フォルダを自動生成。
- 2009年12月24日時点で、日報が170ファイル、週報が30ファイル、月報が0ファイル存在すれば、フォルダ自動生成により日報、週報フォルダのみが存在する
- 2009年12月25日時点で、月末なので、10名のユーザが日報、週報、月報を報告フォルダに登録すれば、月報が10ファイルになるので、この日の23:00に月報フォルダが自動生成される。
- 2009年12月26日よりユーザは月報フォルダを利用して登録ならびに検索ができる。

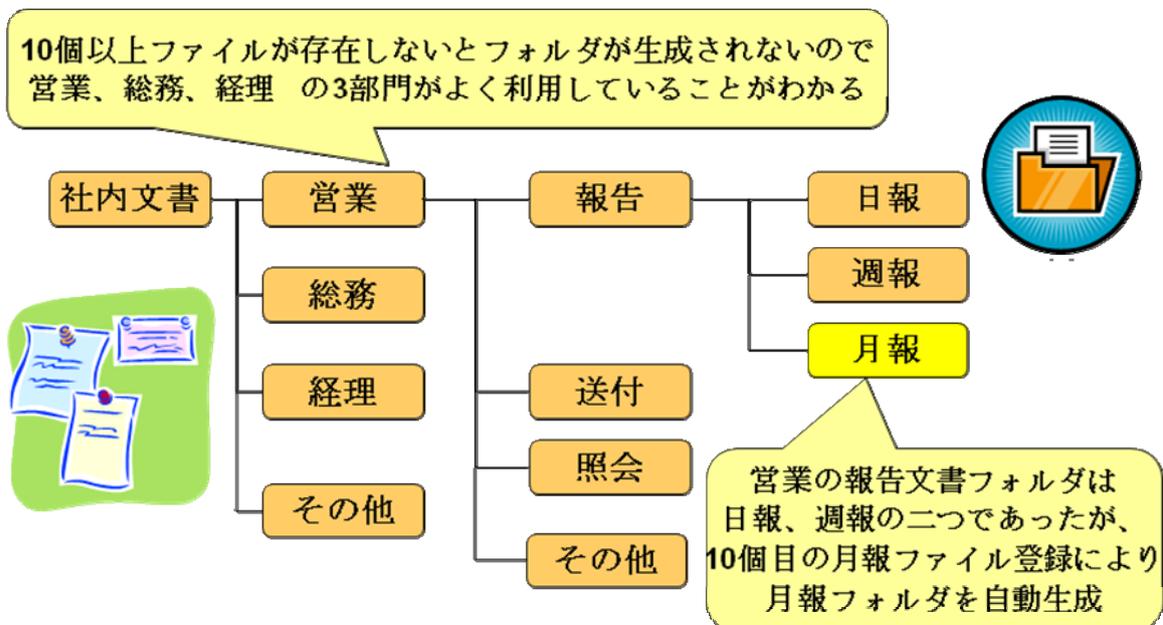


図1. 社内文書用 GrowingTree 分類項目：(部門,行動,書類名),生成条件(最低10個存在)